

## 平成25年行政事業レビューシート

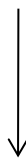
(厚生労働省)

事業名	麻しん排除対策推進費		担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	結核感染症課		結核感染症課 正林 督章	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	「麻しんに関する特定感染症予防指針」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「麻しんに関する特定感染症予防指針」(平成19年厚生労働省告示第442号)において、国は、麻しんが排除・維持されているかを判定し、世界保健機関に報告する排除認定会議を設置するとしており、また、厚生労働省は、関係機関との連携を強化し、国民に対し、麻しんとその予防に関する適切な情報提供を行うよう努めるものとするなどとしている。このため、麻しん発生時対応の更なる強化を行い、麻しんとその予防に関する普及啓発を実施し、麻しんの排除に向けた取り組みを推進することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	麻しん発症地域における麻しんの発生経路等の調査・分析を行うとともに、その結果を広く周知することにより麻しん排除を達成する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	3	3	3	3	3
		補正予算					
		繰越し等					
	計	3	3	3	3	3	
	執行額	4	3	3			
執行率(%)	133.3%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	予防接種の接種率(麻しん)	成果実績		88.20%	89.40%	集計中	95%
		達成度	%	92.80%	94.10%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	麻しん対策推進会議の開催回数	活動実績 (当初見込み)	回	2 ( 2 )	2 ( 2 )	1 ( 2 )	— ( 1 )
		算出根拠	予算額を麻しん対策推進会議の開催回数で除して算出。				
単当たりコスト	3,249,000 (円/回)						
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	社会保障関係情報化業務庁費	3	3				
	計	3	3				

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位あたりコストの削減は困難であるが、引き続き消耗品等の抑制による節減を実施。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、真に必要な費目を対象経費としている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶推進のための対策であり、計画当初に比べ麻しん患者数を大幅減(平成20年度:約1万人→平成24年度:約3百人)させるなど、他の手段に比べて実効性の高い手段となっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初見込みどおりの活動実績となっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	<p>本事業は、「麻しんに関する特定感染症予防指針」(厚生労働省告示442号)に基づく麻しん排除を達成するため、これまでも見込みどおりに実施されている。</p> <p>引き続き、麻しん排除を達成するために予算額の確保が必要である。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	麻しんの予防啓発や発生時の対策強化を行い、麻しんの排除を図るための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	147	平成23年	118	平成24年	93

厚生労働省 3百万円

〔麻しん発症地域における麻しんの発生経路等の調査・分析を行うとともに、その結果を広く周知することにより麻しん排除を達成する。〕



A 国立感染症研究所

3百万円

内訳

麻しん対策技術支援チーム経費 3百万円

〔麻しん対策技術支援チーム経費〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

A. 国立感染症研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費等	麻しん対策技術支援チーム経費	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					